

議員研修会

〔総務文教常任委員会企画〕
〔研修テーマ〕

筑後地域消防指令センター
の施設見学及び共同運営に
ついて

消防通信指令業務の共同運用の拠点となる「筑後地域消防指令センター」は平成28年4月1日より運用を開始しており、119番の通報を受け、消防・救急隊の編成や出動の指示、無線での情報伝達などの業務を行っています。これまで、それぞれの消防本部が独自に実施していましたが、複数の消防本部による共同運用は、県内初の取組です。指令センターが受け持つ地域は、筑後地域の7消防本部（久留米広域、大牟田市、柳川市、八女、筑後市、甘木・朝倉及びみやま市消防本部）管内の15市町村におよび面積は福岡県の3分の1を占め、人口は約90万人に上ります。地域内の緊急通報について高機能消防指令システムを駆使して、消防職員が的確な処理と迅速な対応をしており、他の車両の位置や状況、現場周辺の消火栓や防火水槽などの情報も画面表示され、迅速かつ効果的な消火、救命・救助

活動に繋がっていることが確認出来ました。なお、大規模災害が発生した場合、各消防本部の管轄を越えた応援活動など迅速な対応が出来る体制がなされていきました。また、財政負担では7消防本部が共同で整備・運営するため、単独で行うより経費も削減出来ていました。今後、既存の指令システムは10年に1度全てを更新しており、令和8～9年度にかけて新システムの構築が予定されています。



議員研修会

〔都市経済常任委員会企画〕
〔研修テーマ〕

農業の取り巻く現状と課題
(講師)

みい農業協同組合経済部長
樋口光秋氏

みい農協は小郡市、大刀洗町、

久留米市北野町の3地区で構成されています。小郡市は米の生産が中心、大刀洗町は露地野菜、北野町はハウス栽培とそれぞれの特徴を持っています。しかしながら豪雨災害で収穫量が年々減少していることや後継者不足、そして、2024年問題など農業を取り巻く環境は非常に厳しいものがあります。稼げる農業を構築するためには、農事組合組織や株式会社組織など更なる法人化の推進が必要で、6次産業化に取り組み、生産から加工販売に繋げていくことが重要です。市の主要産業である農業を発展させるには、市とみい農協の連携が不可欠です。



6月定例会の会期日程(予定)

6月1日(木)	本会議 (議案上程)	6月16日(金)	本会議 (一般質問)
6月5日(月)	本会議 (質疑)	6月19日(月)	本会議 (一般質問)
6月7日(水)	総務文教常任委員会	6月20日(火)	本会議 (一般質問予備日)
6月8日(木)	保健福祉常任委員会	6月22日(木)	本会議 (委員長報告と質疑・討論・採決)
6月9日(金)	都市経済常任委員会		

編集後記

3月定例会で令和5年度予算が可決されました。今回の定例会では、予算をはじめ青少年育成基金条例の制定、また「筑後小郡インター周辺まちづくり構想」の核となる大型商業施設の誘致に関する決議などに対し、活発な議論が行われました。新人議員の私には驚くことばかりであり、議員として徹底した情報収集や発信に努めなければならぬことを再確認しました。

住みやすいまちづくりの実現に向けて、議会の果たす役割は益々大きくなってきています。私自身、市民の皆さまと議会の懸け橋になれるよう、今後ともご意見をいただきながら議会だよりのさらなる充実に取り組んでまいります。

(甲斐田典彦)

議会広報特別委員会

委員長 小野 壽 義
副委員長 小坪 輝 美
委員 黒岩 重 彦
委員 甲斐田 典 彦
委員 橋間 順 平
委員 深川 博 英